

「子宮頸部腺癌の免疫組織学的評価とその放射線治療予後に 関する後向き観察研究」へのご協力のお願い

1. 研究の目的と意義

当院では、患者様の診療とともに、診療の向上を目指す研究を行っています。

子宮頸部腺癌は、その亜分類診断基準が2014年に新しくなりました。しかし、最新の分類に基づいた亜分類毎の放射線治療の成績は未だ明らかになっていません。

また、生検検体を免疫組織染色という方法を用いて評価することで、放射線治療予後を予測できる可能性があります。そこで、群馬大学腫瘍放射線学講座が主体となって、群馬県立がんセンターを含めた4施設で過去の症例を解析することになりました。

2. 研究の方法

この研究では、2000年1月より2016年12月までに群馬県立がんセンター、群馬大学医学部附属病院、放射線医学総合研究所病院、埼玉県立がんセンターで根治的放射線治療を受けた子宮頸部腺癌の患者様を対象とします。診療録をもとに、臨床背景、治療内容、臨床経過、予後、病理組織結果について後ろ向きに調査します。また、保管されている生検検体を免疫組織染色で評価します。

これまでの診療情報・試料を用いる研究ですので、患者様の負担はありません。研究結果は対象となった患者様の診療には利用しませんので、結果をご本人にお伝えすることはありません。研究は2022年3月まで行い、終了後は、集めた標本やデータは適切に破棄します。

3. 個人データとプライバシーの保護について

対象となる患者様のデータや標本などは、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を守ります。また研究結果は学会発表や学術雑誌に公表しますが、その際も個人を特定できないようにします。この研究への協力を希望されない場合は、主治医または下記へ2017年7月31日までに、その旨をお伝えください。その場合でも、今後の診療には何の影響もありません。

連絡先 群馬県立がんセンター放射線科 電話:0276-38-0771

研究責任者 安藤 謙